

公益財団法人東京都医学総合研究所
2019年第2回評議員会 議事録

- 1 開催場所 東京都世田谷区上北沢2-1-6
(公財) 東京都医学総合研究所 S棟2階 会議室B・C
- 2 開催日時 2019年6月20日(木) 午前10時00分～午前11時50分
- 3 評議員現在数 現在数 13名、定足数 7名
及び定足数
- 4 出席評議員  9名
出席: 鳥居こうすけ、上田令子、大隅良典、平川博之、篠田義一、水澤英洋(議長)、
森田育男、池上晶子、吉村和久
欠席: 藤井一、田邊英一、山元恵子、高橋郁美
- 5 監事現在数 現在数 2名
及び出席監事 出席: 清矢守
欠席: 奈良部瑞枝
- 6 同席者 理事長: 田中啓二、 所長兼理事: 正井久雄
副所長: 糸川昌成、齊藤実、 事務局長: 西村信一
知的財産活用センター副センター長: 青木一正
庶務課長: 宮村悦子、 研究推進課長: 峯村広幸
- 7 議案 (議決事項)
第1号議案 平成30年度決算について

(報告事項)
1) 評議員選定委員会の結果報告
2) 経営改革プランについて
3) 評価報告書について
4) ログテキストの作成について
5) 英文パンフレットの作成
6) 理事長・副理事長の職務執行状況の報告

8 議事

(1) 開会

西村事務局長が定刻になった旨を伝え、配布資料の確認と各評議員を紹介した。本日は評議員13名のうち9名が出席しており、定款第20条第1項に基づく定足数を満たしている旨を報告するとともに、研究所幹部職員を紹介した。

水澤議長が評議員会の開催を宣言し、田中理事長が挨拶を述べた。挨拶の中で、第3期プロジェクト研究の最終年度であり、その目標達成に取り組むこと、また、その研究成果を継承し、更なる飛躍を図るために第4期プロジェクトに向けた新たな体制の準備を着実に進めていく旨述べた。

(2) 議事録署名人の選出

水澤議長が池上評議員と吉村評議員を議事録署名人に選出し、議長本人とあわせて計3名で議事録署名することが了承された。

(3) 議案の審議状況及び議決の内容

[議案説明]

第1号議案 平成30年度決算について

西村事務局長が平成30年度の決算報告書と事業報告書の内容を説明。引続き、2名の監事を代表して清矢監事が監事監査結果を報告した。

[質疑等]

第1号議案 質疑なし

[議決]

第1号議案について、出席者全員の賛成により、原案のとおり議決された。

(3) プレゼンテーション及び報告事項

報告事項に移る前に、以下の2名の研究員により、研究成果が紹介された。

[プレゼンテーション]

・長谷川 成人 認知症・高次脳機能研究分野長

「認知症の発症、進行機構」

・丸山 千秋 脳発達・神経再生研究分野 神経回路形成プロジェクトリーダー

「胎児期に脳ができる仕組みに新たな発見」

[報告事項]

報告事項1 評議員選定委員会の結果報告

西村事務局長が、2019年6月12日に開かれた2019年度第1回評議員選定委員会の結果として、2019年3月31日をもって辞任された倉橋俊至評議員、古賀元浩評議員および大井洋評議員に代わり、高橋郁美氏(東京都新宿区健康部長兼保健所長)、池上品子氏(東京都福祉保健局事業推進担当部長)および吉村和久氏(東京都健康安全研究センター所長)が評議員として選任され、任期は2019年6月12日からとなることを報告した。

報告事項2 経営改革プランについて

西村事務局長が、昨年度報告した経営改革プランについての改訂版ということで、都のホームページに掲載されている「東京都政策連携団体 経営改革プラン改訂版(2019年度)の概要」の当研究所のみを抜粋した資料を基に説明した。改訂のポイントの主な実績として、都立病院との連携強化(研究シーズの発掘)や都民にわかりやすい普及広報活動の強化(都民向けホームページの作成・都民講座の休日開催)について、また今後の改訂ポイントとして、2020年度開始の第4期プロジェクトに向けての研究体制見直し、都立病院等との連携強化および国内外への研究成果の発信について、更に進めていく旨述べた。

報告事項3 評価報告書について

西村事務局長が、平成30年度に実施された平成27・28・29年度開始分の第3期プロジェクト研究27テーマの中間評価について、評価方法と評価点等を説明した。

報告事項4 ログテキストの作成について

西村事務局長が、すでに商標登録を行っている英文略称「TMIMS」(ティーミムス)を、デザイン化したログテキストについて新たに商標登録された旨報告し、その使い方について説明した。

報告事項5 英文パンフレットの作成

西村事務局長が、海外に向けて医学研の研究成果を発信していくといった趣旨により詳細な冊子を2018年10月に、コンパクトにまとめたパンフレットを2019年3月に英文で作成した旨報告した。研究所に来訪する海外の研究者や海外の国際学会等で配布し、研究所の研究内容を国際的に発信していくために活用する旨説明した。

報告事項6 理事長・副理事長の職務執行状況の報告

西村事務局長より、2018年6月28日に開催した平成30年第2回評議員会以降の理事長と副理事長の職務執行状況について報告した。

[質疑等]

報告事項1 質疑なし

報告事項2

上田評議員より質問

都立病院との連携について、東京都監察医務院との連携や情報共有はあるのか。

西村事務局長より回答

現時点では監察医務院との連携研究は行っていない。当研究所の前身である旧3研究所に隣接していた都立病院(駒込病院、神経病院、松沢病院)を軸に、その他の都立病院や公社病院との連携を進めたいと取組んでいるところである。

上田評議員よりコメント

監察医務院では薬物の死亡原因についての調査等も行っており、予防等医学研究に役立つと思うので、ぜひ監察医務院との連携も進めていただきたい。

水澤議長より質問

関連して、神経病理解析室と監察医務院等との連携はないのか。

西村事務局長より回答

個々の案件として、監察医務院含め警察や大学病院等からの鑑定依頼といった協力関係はある。

水沢議長よりコメント

日本全体として法医学については研究体制が弱いという構造があるが、東京都では、活用できる施設があり、ぜひ連携体制強化を進めていただきたい。

森田評議員よりコメント

国立大学等は運営公金が少なくなった結果、とにかく外部資金を獲得していこうということが命題となっている。本日の研究成果発表およびこれまでの研究成果をみてもとても素晴らしいものを持っており、もっと外部資金を獲得できると思う。経営改革のなかに外部資金をもっと獲得して活用していくといったことも入れていってもよいのではないか。

報告事項3 質疑なし

報告事項4 質疑なし

報告事項5 質疑なし

報告事項6 質疑なし

(4) 事務局からの連絡事項 等

西村事務局長が、出席した評議員へのお礼を述べた。

(5) 閉会

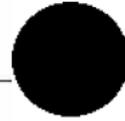
議案の審議等を終了したため、午前11時50分に水澤議長が評議員会を閉会する旨を宣言した。

以上の議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、署名捺印する。

2019年 6月 24日

議 長

[Redacted Name]



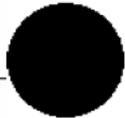
議事録署名人

[Redacted Name]



議事録署名人

[Redacted Name]



本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
公益財団法人東京都医学総合研究所 理事長 田中啓二